

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

10月

146号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぶぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
た なか ひで ひと

吾が真生会の教えの素晴らしいことは「生きた人間を拝みなさい」ということです。先祖や亡き親に感謝して拝むことは当然であり、何宗も教えています。

しかし、罪を作るのは生きた人間関係であります。罪を作る人間関係において、相手を拝む修行ができたら、毎日の生活は直ちに極楽の生活に変わるのです。

親が我が子を拝んで育てた偉大な信仰的努力は、成長してから人から拝まれ尊敬される人格者となるのです。商品や機械も同じです。この商品のおかげ、機械が動いてくれるおかげと感謝の心を持って拝んだ商品や機械が成仏しないはずはありません。

拝む心こそが仏なのです。

(真実に生きる44号より)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなかつねひと

◇人生は徳次第

「徳積めば物は自由になるものを、徳も積まずに困る世の人」「徳が本なり、財は末なり」これが永遠の真理です。幸せになるには、「自分の力に応じて徳を積む」ことが大切です。第一に仏事や神事に布施をし、第二に先祖供養と親孝行、第三に社会や人様に喜んでもらう善行をすることが徳積みです。分に応じた施しの徳積みがしてないとお金があっても、学歴があっても、地位があっても、最後は本当の幸せにはなれないのです。何故なら、すべての人間の生まれながらの共通の目的は「徳を積んで仏になる」ことだからです。病気の人は、体に徳が無いので、徳を積み、貧乏な人はお金に徳が無いので、生活を切り詰めてでも「貧者の一灯」のお金で徳を積むことです。

あるテレビ番組で芸能人豪邸ベスト10という企画がありました。第十位は約二億円の豪邸で、第一位は約十八億円の絶景を目の前にした豪邸でした。しかし、約半分の方は離婚をしたり、連れ添いに先立たれたり、子供が警察にお世

話になったり、独身の身であったり、お金ではどうにもならない家庭的な寂しさや家族に問題のある方達でした。徳のない財産があるばかりに身内で醜い^{みにく}財産争いをしたり、子供が道楽者になってしまいう家もあります。また、学歴というプライドが邪魔をして頭を下げることや謙虚になることができずに余分な苦勞をしている高学歴の人もいます。地位が出来たばかりに高慢になり高圧的になり、嫌われている人のいるのが現実です。

◇ご利益の頂ける信仰とは

お釈迦さまご在世の頃、釈迦教団に入門する条件は「三宝帰依」の一点でした。三宝とは「仏・法・僧」のことです。帰依とは「命がけで信じる」ということです。つまり、「仏さまに帰依します。法に帰依します。僧に帰依します」ということをお誓いすれば、お釈迦さまのお弟子になれたのです。私たちも「三宝帰依」の実行ができたら仏弟子であり、あらゆる苦を乗り越えて仏さまと同じ大安心の人生というご利益が必ず頂けるのです。

では、具体的に何を実践したらよいのでしょうか？

① 仏帰依とは、毎日お経を上げ、仏さまを真剣に拝むことです。

どのご家庭にも仏さま、ご本尊さまをお祀りしましょう。仏さまのお祀りしていない家は、どんな新築の立派な家でも気の抜けた廃屋と同じであり、仏さま（大自然）のご守護はかかりません。また、ご本尊さまをお祀りしてもお経も上げず、手も合わせなかつたら、何のご利益も出ません。仏を敬えば仏力を得、師を敬えば師力を得、親を敬えば親力が得られるのが真理です。

②法帰依とは、妙法（真理）の教えをしつかり実行することです。

法は拝んでも功德は出ません。実践した時にのみご利益が出るのです。妙法（真理の教え）を疑わず、喜んで実行することです。交通法規を守っていれば、事故を起こしても法律によって守られるのと同様に、妙法の真理を守って実行していれば、いざという時に宇宙の真理の法則によって守られるのです。

③僧帰依とは、教えを伝えて人を僧伽（さんか）の仲間）に導くことです。

人を教えに導いた功德は、誰かのスポンサーになり、一生の間有り余る衣食住の応援をした功德の百倍、千倍、百万億倍の功德が頂けると経典（ずいきく）（随喜功德）にあります。この僧帰依の功德が一番大きいのです。

三宝帰依のすべてができなくても、どれか一つでも実行すれば、必ず三宝の

功德が頂けるのです。知っていても、実行しなければ、功德は出ません。
 ◇ 拝んだ事実、祈りの功德

岡山のある夜法座の会場に三十代の若いお父さんが悲壮な顔で相談に来られました。「一か月前の夕飯時、三才の娘と散歩から帰ったおばあさんとみそ汁の鍋を持った嫁とが振り向きざまにぶつかり、その勢いで三才の女の子が頭から煮え湯をかぶり、全身大やけどを負い、今も意識不明の瀕死ひんしの重体で生死をさまよっています。ここの法座宅の奥さんから『真生会の法華経の教え聞けば必ず助かるから、うちの法座に是非来なさい』と言われ、藁わらをもすがる気持ちで来ました。何とか助けて下さい」という緊急事態です。

翌日、入院先である最新の設備の整った大きな国立病院の集中治療室に伺いました。全身を包帯でぐるぐる巻きにされた幼いた気な女の子が力なく横たわり、何本もの点滴の管が手足に刺されていました。小さな声で妙法を唱え、そつと手をかざし全身を拝ませてもらい、控室で心配そうに待つ若い両親に、この災難の原因と看病の心構えや実行すべきことをお話しました。

「怒りは地獄の業なるべし 病氣・貧乏・災難の本」怒りはすべての幸せを

破壊してしまふのです。罪のない幼女がこのような大やけどをするのは、平素から積もり積もった嫁姑の憎しみ合いの怒りの業火が原因であり、仏さまがこの幼女を通じて教えて下さったのです。

「○○ちゃん、ごめんね。これからはお父さんも、お母さんも、おばあちゃんを大切にして仲良くするからね。仏さまどうぞお守りください」と心からの懺悔さんげと心の切り替えの必要性を説きました。

ただ側そばに付き添っているだけでは奇跡のご守護は頂けません。諸経中の王であり、最も尊いお経である法華経の寿量品の中にある「衆生見劫尽しゅじょうけんこうじん 大火所たいかしよ 焼時しょうじ 我此土安穩がしどあんのん 天人常 充滿てんにんじょうじゅうまん」の四句を唱え続けて下さい。私は遠方で月に一度しか来れません。私の数珠を差し上げますので、一緒に拝んでもらえると思つて毎日何時間でも手をかざして拝み続けて下さい。

意味は、「人間の存在する長い時代が終わり、すべてが大火に焼かれてしまふと見える時代が来ても、仏の国土は安穩であり、天人が充滿し溢れている」と言い換えれば「健康な体が大やけどで全身が焼けたのだれと見える時も、仏さまに守られたその体は、元通りになり大安心が得られる」というご守護がかか

るのです。不安と心配で泣いている暇があったら拝み続けることですよと厳しいご指導をしました。

その後一か月の間に主治医から「今晚が山です。覚悟してください」と五回も宣告されましたが、奇跡を信じて昼夜一心不乱に拝み続ける両親の姿に、お医者さんも「どうぞ、一生懸命拝んであげて下さい」と運を天に任せる以外なかつたのですが、命だけは取り止めることができず。しかし、煮え湯をかぶった時のダメージで脳が委縮しているので、植物状態であり話すことも意思の疎通もできない、命が助かっただけでも奇跡ですと言われました。

しかし、このご夫婦は意識回復の奇跡を信じ、来る日も来る日も拝み続け名前を呼び続けられたある日、両親の呼びかけに突然返事をしたのです。

驚いた医者が脳の検査をしましたが、やはり脳は縮んだままで医学的には喋れる状態ではありませんでした。この日を境に、日に日に驚くほどの回復を遂げ、無事退院し親子三人そろって岐阜の総本山真生寺までお礼参り来られたのです。ここに信仰は信じた者が救われ、実行した時に医学や化学を超越した不可思議な功德、ご利益が現れることが証明されたのです。

今月の運勢（11月）

（2017年11月7日～12月6日）

一 白水星

何事も区切りと調節が大切となる。人との楽しい出会いが続き飲食の機会も多くなるが、度が過ぎないようほどの節制が大切。但し、できもしない無理な苦節にこだわってはいけない。

二 黒土星

突然の変化が訪れる。乗り越えるには謙虚な姿勢が大切となる。但し卑屈になってはいけない。志は高く保ちつつ、頭を低くし、礼儀正しい言葉使いを心がければ道は開ける。

三 碧木星

輝くばかりの明るさで

活動でき、何事もうま

く行く。この勢いが続くには誰に対しても陰日向なく、平等に慈悲の心で照らすこと。皆が注目しているのので有頂天にならないよう。

四 緑木星

運氣の低迷期であるが、心に引つ掛かっていた事案や苦難が解消し悩み事から脱却できる。結束が崩れ離散の危機もある。守るべきものは守り、不断の努力を怠らないこと。

五 黄土星

大きな勝負に出ず、コツコツと基礎固めの時。月の中旬以降運氣が上向いて来るので、

焦らず何事も謙虚に対

処すること。誰に対しても親切と優しさがポイントとなる。

六 白金星

何事も私心を捨て、無心になって行えば天の後押しを得て望外のご褒美が得られる。逆に動機が不正ならば、落雷の如く天罰が下る。活動範囲を広め奉仕の心で行えば吉となる。

七 赤金星

力がみなぎり、追い風に後押しされるが、置かれた立場の重責に耐えかね重圧を感じる。時にはやり過ぎるほどの頑張りも必要である。従順で人に喜ばれ

ることを心掛ければ願

い事は叶う。

八 白土星

休息の時と心得て、ゆったりと過ごし、エネルギーを蓄えること。大きな動きは控えること。但し周囲の動向は注意深く観察して善悪長短をしつかり見極めること。

九 紫火星

鋭気が充満しているの

で何事もうまく行く。

心を安らかに保ち、持てる力を一層充実させ、正しい目的、天命に従い、みんなの力を

結集し、無心に協力すれば計算以上の結果が出る。慢心に要注意。

しあわせ眼鏡

過ぎた過去を追うな
追い過ぎると愚痴が出る
まだ来ない未来を追うな
追い過ぎるとため息が出る
ただ今日なすべきことを
やれることを喜んでやること！
今日を幸せに生きるには
現在の幸福を
犠牲にしてはいけない

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。